

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用 No.
360	B-04027249	女性	56歳	150mg	塩酸オロバタジン	意識消失 発疹 顔面浮腫	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。2回目の服用後、胸部背部に発疹が出現するが、未処置のまま就寝。翌朝、発疹はやや軽減するが、顔面浮腫の自覚あり、さらに排尿時にごく短時間の意識消失発現。再度リン酸オセルタミビルを服用したところ、気分不良及び発疹増悪、入院。点滴加療等により、翌日回復、退院。	異常以外-335
361	B-06025199	女性	56歳	150mg	ロサルタンカリウム ベシル酸アムロジピン	胆汁うっ滞 幻覚 腎障害	回復 回復 回復	高熱のため、インフルエンザ検査施行したところ、A型は陰性であったが、リン酸オセルタミビル処方。服用3日目、本人、家人申告によると、目をつぶると幻覚(非現実的内容)が見え、恐くて目をつぶれなかった。半日くらい続いたとのこと。服用4日目、幻覚回復。服用5日目、熱発、食思不振、脱水症状にて補液処置。服用終了4日後、全身倦怠感著明。検査上、肝・腎機能障害あり。入院加療にて回復。	異常以外-336
362	B-07000104	男性	57歳	75 mg	アセトアミノフェン ベシル酸アムロジピン カンデサルタンシレキセチル メシル酸ドキサソシン 球形吸着炭 炭酸水素ナトリウム アロプリノール ファモチジン 沈降炭酸カルシウム シロスタゾール タゾバクタムナトリウム・ピペラジン ナトリウム パニペナム・ベタミプロン ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	痙攣	死亡	発熱(39.4℃)、湿性咳嗽あり、インフルエンザA治療のため、リン酸オセルタミビル服用。5時間後の翌未明、けいれん発症。	異常以外-337 死亡-43
363	B-07000287	女性	57歳	75 mg		落ち着きのなさ	回復	インフルエンザA陽性であり、症状の訴え強いため、リン酸オセルタミビル75mg服用後、透析開始。服用20分後、悪苦しき出現。SpO2 90%。O22リットル開始後、98%に改善するが、その後起座呼吸。不穏状態となる。胸部レントゲン上(透析1時間後)うっ血を認める。服用1時間後、心不全、不穏の為、入院。	異常以外-338
364	B-08028881	男性	58歳	150 mg	クラリスロマイシン トラネキサム酸 鎮咳配合剤(1) 塩酸チザニジン エチゾラム テルミサルタン オメプラゾール ロスバスタチンカルシウム レバミピド クエン酸モサプリド	頭蓋骨陥没骨折	後遺症	他院受診。インフルエンザと診断。リン酸オセルタミビル、抗生物質、鎮咳薬等投与。服用2日目、朝、本剤服用。眩暈症、失神発現。立ちくらみ。頭骨骨折発現。転倒し頭蓋骨陥没骨折。左側脳内打撲。開頭手術、頭蓋骨をブリッジにて固定。眩暈症、失神から10日目、改善骨形成術施行。本剤服用終了から約20日目、退院。	2008/4/1以降 新規報告
365	B-05001265	女性	59歳	150mg	セフトレキシム セラベプターゼ リン酸ジメメルファン メトクロプラミド ジサイクロミン・水酸化アルミニウム配合剤 酸化マグネシウム	悪夢(悪夢)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与。投与開始日の夜、悪夢発現。発熱中夜睡眠時に悪夢発現。本剤投与開始3日後平熱化し、自覚症状改善したため、当日夜の服用を中止したところ、悪夢を見なくなった。回復。	異常以外-339

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	薬剤名	性別	年齢	用量	投与期間	症状	経過	投与開始から経過	備考
366	B-05001338	男性	59歳	150mg	セフトレキシム セラベプターゼ リン酸シメチジン メトクロプラミド ジサイクロミン・水酸化アルミニウム配合剤 アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	悪夢(悪夢)	回復	前日から38℃発熱、インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビル投与。その夜悪夢出現。飲み続けた2日間、悪夢継続。本剤投与中止により悪夢の自覚症状改善。	異常以外-340
367	B-05024962	女性	59歳	150mg	アセトアミノフェン	嘔吐 悪心 頭痛 頭部不快感	回復 回復 回復 回復	A型インフルエンザで発熱(36.9℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始から2日目に悪心、嘔吐、頭痛、頭部不快感が発現し、リン酸オセルタミビルの服用は投与開始から3日目の投与終了まで中止した。その後、悪心、嘔吐、頭痛、頭部不快感の発現から約20日後に症状が回復した。	異常以外-341
368	B-07000276	女性	59歳	75 mg	ハロペリドール ゾテピン 塩酸ピペリデン ユビデカレノン フマル酸クエチアピン 塩酸プロメタジン センソノド フルニトラゼパム	痙攣 息詰まり	不明 後遺症	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。一回服用後、痙攣、意識レベルの低下発現。本剤投与中止。 翌朝、普段と変わらない状態を確認後、食事。その後、食事をのどに詰り倒れているところを発見。	異常以外-342
369	B-05001125	男性	61歳	75mg	カルボシステイン ステアリン酸エリスロマイシン	意識変容状態	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与。食後カルボシステイン、ステアリン酸エリスロマイシンと同時に服用したところ5分以内に意識がなくなる。救急車到着後も意識が戻ったため、自宅静養。回復する。その数日後、再度受診し本剤DLSTの検査を行ったところ、S.I値217%であった。	異常以外-343
370	B-05000880	女性	62歳	150mg		味覚異常(味覚障害) 嗅覚錯乱(嗅覚障害)	回復	インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビルを投与。投与開始4日後に味覚障害、嗅覚障害発現。その後も投与を続け、開始5日後に投与終了。投与終了後8日で軽快。	異常以外-344
371	B-06025517	男性	62歳	150 mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤投与翌早朝、意識不明(トイレに目覚めたが、トイレと逆方向に行き転倒。気付いたときは頭部に4cm程度の切り傷あり)発現。	異常以外-345
372	B-05001513	女性	63歳	150mg	テオフィリン 非ピリ系感冒剤(2) セフトレキシムプロキセチル アセトアミノフェン アスピリン アルファカルシドール バルプロ酸ナトリウム トロキシド トラピジル 沈降炭酸カルシウム プロチゾラム クエン酸モサブリド 塩酸チアラミド 鎮咳配合剤(1)	痙攣(けいれん重積発作)	回復	脳梗塞、慢性腎不全、血液透析の既往あり。咳、発熱(38.5℃)嘔吐出現し、塩酸チアラミド及び鎮咳配合剤4日間投与。その後も発熱、嘔吐が続くため、確定検査によりインフルエンザB確定診断しリン酸オセルタミビル投与。3日後発熱するが嘔吐改善なく、感冒薬投与。翌日全身痙攣をきたし、救急搬送。けいれん重積発作が3時間続く。その後回復。	異常以外-346

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	投与薬	副作用	経過	経過の概要	副作用 No	備考
373	B-05002114	女性	63歳	150mg	アジスロマイシン水和物 非ピリジン系感冒剤(4) テブレノン エカベトナトリウム	味覚異常(味 覚障害)	軽快	発熱有り受診し、B型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビルを投与。本 剤投与後3日後、食欲不振、味覚障害発現(重篤でないし軽微でもない)。その翌日平熱 となり本剤投与中止。本剤投与中止20日後、味覚障害軽快となる。	異常以外-347	
374	B-05000160	女性	64歳	150mg	アセトアミノフェン	筋痛(両上肢 脱力を伴う筋 肉痛) 感覚障害(上 半身皮膚知覚 異常)	未回復	発熱、関節痛のためインフルエンザ確定診断を実施せずリン酸オセルタミビルを投与開 始。翌日両上肢脱力を伴う筋肉痛、上半身皮膚知覚異常発現。その後の処置、転落等 については不明。	異常以外-348	
375	B-05017977	女性	64歳	75mg		意識消失(意 識消失)	回復	B型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与。1cap服用後、意識消失発現。 救急搬送される。翌日退院となる。回復時期は不明。	異常以外-349	
376	B-04027668	男性	65歳	150mg	メフェナム酸 非ピリジン系感冒剤(4)	味覚異常	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与開始2 日目、味覚障害を発現。合計5日間本剤服用した後、投与中止。翌日、味覚障害回復。 その後9日目、調子が悪くなり(だるい)、悪寒、味がおかしくなるとの訴えあり。味覚障害 については、報告時未回復。	異常以外-350	
377	B-08001548	女性	65歳	150 mg	ロフラゼン酸エチル	異常行動	回復	インフルエンザ発症。発熱あり。 インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用。 服用3日目、5回服用後、怒りがこみ上げる。物を投げるといった症状が発現。体温 36.5℃。本剤服用中止。同日回復。		2008/4/1以降 新規報告
378	B-03003859	女性	66歳	150mg	カルベジロール レボチロキシナトリウム グリベンクラミド アカルボース	脳血栓 血圧低下	未回復	発熱(38.6℃)にてリン酸オセルタミビル服用開始。 2日後、血圧低下。 その2日後、本剤服用中止。 服用中止21日後、右半身麻痺発症。 2日後、入院し脳血栓症の診断。 退院後も右半身麻痺症状は消失せず。	異常以外-351	
379	B-03009966	男性	66歳	75mg	テオフィリン ブランルカスト水和物 テブレノン プロピオン酸フルチカゾン	痙攣 意識消失	回復	喘息のため、テオフィリン、ブランルカスト水和物、テブレノン(以上開始日: 2001/07/14)、プロピオン酸フルチカゾン(開始日:2002/05/28)を投与中。インフルエン ザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。同日夜、75mgを服用。その7時間 後、意識消失発作あり転倒したが、1分程度で意識が戻る。その2時間半後、眼球上転、 全身痙攣出現、便失禁あり。1分程度で痙攣消失し意識清明となる。入院したが、意識清 明。本剤内服は中止。7日間入院したが、その間意識消失、痙攣なし。	異常以外-352	
380	B-05001653	女性	66歳	150mg	アズレンスルホン酸ナトリウム インドメタシン 乳酸リンゲル液 メクロブramid	意識変容状態	回復	発熱・全身倦怠感を訴え外来受診。インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル投 与。翌日午前中嘔吐し、再度外来受診。乳酸リンゲル液+メクロブramid静注。手のし びれを訴えたがそのまま帰宅。翌日早朝、意識障害に気づき、救急病院に搬送され、本 剤投与中止となる。翌日、家族から意識回復の電話連絡あり。	異常以外-353	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

	症例番号	性別	年齢	用量	薬剤名	副作用	経過	説明	備考
381	B-07001731	女性	66歳	75 mg	臭化水素酸デキストロメトラン ロラゼパム クロキサゾラム	意識変容状態 痙攣	回復 回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。食事中、腹痛、気分不快になり意識消失(5分間程)。尿失禁あり。その後回復。	異常以外-354
382	B-07002262	女性	66歳	150mg	アセトアミノフェン ツロブテロール 塩酸プロカテロール クラリスロマイシン 酒石酸ソルビデム 臭化オキシロピウム 臭化水素酸デキストロメトラン セラベプターゼ 塩酸アンブロキソール カルボシステイン デオフィリン	うつ病	回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。本剤を服用するとうつ状態となり、死にたいという気持ちが強くなり、手首を切ろうかと思いつめた。 3回目までの服用したが、あまりに症状がきついたので、本剤服用中止。中止後、症状軽快するも、中止1ヵ月後、うつの症状が抜けきらず、夜も眠れないとのこと。	異常以外-355
383	B-05001646	女性	67歳	75mg	非ピリン系感胃剤(4) セラベプターゼ 塩化デカリニウム アセトアミノフェン 維持液(3)	意識消失(意識消失(失神))	回復	前日から38℃発熱、咽頭痛、頭痛有り、受診しインフルエンザBと診断。治療のためリン酸オセルタミビル投与。その夜、意識消失(トイレで倒れ骨折)。失神は5分以内に回復。本剤投与は継続し本剤投与4日後にインフルエンザ回復。	異常以外-356
384	B-06026127	女性	67歳	150 mg	クラリスロマイシン 塩酸テアラミド リン酸コデイン(1%以下) 塩酸プロカテロール 塩酸セフェピム	意識消失	回復	夜、本剤服用後、医院から帰る途中、車にて事故を起こした。意識消失発現。来院し、体温36.2℃。事故について、意識がなかったことを聞く。CT異常なし。意識消失回復。	異常以外-357
385	B-07027779	女性	67歳	75 mg	ゾニサミド センノシド 塩酸エブラジノン メシル酸プロモクリプテン レボドパ・カルビドパ(1) 塩酸オキシブチニン 塩酸セレギリン アスコルビン酸・パントテン酸カルシウム(1) カベルゴリン フェルビナク ケトプロフェン デオフィリン モンテルカストナトリウム キシナホ酸サルメテロール・プロピオン酸フ アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1)	異常行動	不明	A型インフルエンザと判定されリン酸オセルタミビルを処方。服用2日目、体を横にゴロゴロするような不穏な動きを度々していた。足の不随運動が強く立つ事が困難であった。トイレにうづくまってしまうようになった。服用3日目、体を横に動かす動きがあった。A院受診。服薬中止の指示あり。 服用中止1日後、体調が急変し、心肺停止にて搬送。	異常以外-358

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用 No	備考
386	B-04024816	女性	68歳	150mg	テガフル・ギメラシル・オテラシ ルカリウム アセトアミノフェン 塩酸エホニジピン メクロプラミド	意識変容状態 痙攣	回復	B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。最終投与(4 回目)後当日中に、言語、行動異常出現。バルプロ酸ナトリウム投与等の処置により、有 害事象発現16日後回復。	異常以外-359	
387	B-07000205	女性	69歳	75 mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン アズレンスルホン酸ナトリウム・L ーグルタミン アセトアミノフェン	意識消失	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 翌日、意識消失発現。廊下でまへのめりに転倒、顔を床にうつ。本剤服用中止。	異常以外-360	
388	B-07001524	男性	69歳	150 mg		認知症	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用3日目、幻覚、認知症の悪化発現。幻覚の内容は「周りに女の人々がいて集団見合い をしている」といったもの。 本剤服用終了から2日目、幻覚軽快。本剤服用後しばらくは認知症の程度が強くなった。 本剤服用終了から5日目、発熱前の状態に戻っていた。認知症の悪化も回復。	異常以外-361	2008/4/1以降 追加報告
389	B-07025093	男性	70歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム 非ピリジン系感冒剤(4) テブレノン 塩化デカリニウム アセトアミノフェン	自殺念慮	回復	リン酸オセルタミビル、アセトアミノフェン等処方。 服用2日目、近くの川に飛び込みたい、酒をたらふく飲みたいとの発言あり。	異常以外-362	2008/4/1以降 追加報告
390	B-02002488	男性	71歳	150mg	アジスロマイシン水和物 非ピリジン系感冒剤 セラペプターゼ	糖尿病性昏睡	未回復	悪寒、発熱(38.5℃)のためリン酸オセルタミビル投与開始。 3日後嘔吐、倦怠のため投与中止。 中止2日後、糖尿病性昏睡発現。インスリン処方。 2ヶ月後、糖尿病性昏睡軽快	異常以外-363	
391	B-03010065	女性	71歳		PL リン酸ジメモルファン 塩酸セフカペンピボキシル ベンフォチアミン・B6・B12配合剤 (1) 塩酸ジルチアゼム バファリン81mg トリアゾラム	妄想 幻覚	回復	インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル(量不明)を服用(併用薬の服用状況は不 明)。翌日、解熱したが、夜間より、幻覚、妄想出現。2日後入院、本剤中止。事象発現か ら6日目に幻覚消失。	異常以外-364	
392	B-02001386	女性	72歳	150mg	アンピシリンナトリウム ボラブレジング スリンダク テブレノン 塩酸エベリゾン ジアセバム 臭化ジスチグミン フロセミド ヒトインスリン(遺伝子組換え) プロチゾラム	嗜眠	軽快	細菌性髄膜炎、敗血症発症し入院。血小板減少を認めさらに一過性の意識障害を認め た。その後、A型インフルエンザと診断され、治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。投 与3回日内服後、しばらくして傾眠状態に陥る。その後、痰つまり、血圧低下等有り。同日 本剤等併用薬のほとんどを中止とし、インフルエンザ回復と判断。その後意識低下等の ための処置を行い、意識消失後6日目に経口摂取可能となり、全ての副作用軽快と判 断。その後も意識レベル変動あり。	異常以外-365	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	薬剤番号	性別	年齢	用量	処方薬	症状	経過	説明	副作用 No.	備考
393	B-07000290	男性	72歳	150 mg	クラリスロマイシン 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン グリクラジド 塩酸メホルミン	妄想	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。翌日、精神異常(妄想)発現。常には後から誰かに邪魔されている、邪魔されている人から逃げる。逃げ切った後に急にその人が前に現れるといった症状が、本剤服用後に確認された。本剤服用中止。症状回復。	異常以外-366	
394	B-02001093	女性	74歳	150mg	塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン 臭素水素酸デキストロメトルファン 塩酸ジフェンヒドラミン 桜皮エキス セネガ セラベプターゼ 塩酸プロモヘキシン	譫妄 不穏	回復	詳細不明。認知症あり。	異常以外-367	
395	B-04000835	男性	74歳	150mg	麻黄湯 アスピリン シメジジン	認知症	回復	アスピリン、シメジジンを投与されていた(開始日:不明)。38°Cの発熱があり、インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日及び麻黄湯を5日分処方されたが、4日目に認知症が激しくなり、家の間取りも忘れる。リン酸オセルタミビルを4日分で中止後、記憶力は次第にもどり、事象発現から7日目には認知症症状も良くなった。	異常以外-368	
396	B-05001823	男性	74歳	75mg	クラリスロマイシン クエン酸モサプリド センノシド 経腸成分栄養剤(2) イトラコナゾール	意識レベルの低下(意識レベルの低下)	回復	肺結核、肺炎菌症の既往あり。以前より起立性低血圧の既往有ったが、意識レベルの低下歴は認められていない。38°C程度の発熱が続き、インフルエンザ確定診断テスト実施した結果、B型インフルエンザと診断され、治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。翌早朝ベッド前に倒れ、その際に左側頭部打撲、側頭部内出血。当日朝方に意識レベル改善し、夕食後より本剤投与中止となる。翌日インフルエンザ治癒。	異常以外-369	
397	B-07027778	男性	74歳	75 mg	ベシル酸アムロジピン	異常行動	回復	インフルエンザ発症し、発熱、倦怠感、咽頭痛を認める。咽頭サンプルより、インフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、本剤4回服用後、解熱していたが、自動車運転中に中央分離帯にぶつかりそうになる行動が7~8回あり。同乗していた妻が、ハンドル操作を補助して、一旦停止するよう促した。本人は自分の行動を認めようとしなが、患者の妻から「あの薬は何かあるのか?」と電話にて問い合わせを受けたため「異常行動の可能性あり」と説明した。本剤服用終了から2日目、インフルエンザA型軽快。異常行動回復と判断。	異常以外-370	2008/4/1以降追加報告
398	B-02000229	男性	76歳	150mg	エリスロマイシン 葛根湯 ピペラリンナトリウム	幻覚	回復	詳細不明	異常以外-371	
399	B-02001630	女性	76歳	150mg	塩酸ラニチジン ニセルゴリン フラバスタチンナトリウム カンデサルタンシレキセチル トリクロルメチアジド シルニジピン	痙攣	回復	基礎疾患として、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、高脂血症、高血圧、多発性脳梗塞を持ち、治療中(開始日:2001年頃)。臨床経過より、インフルエンザと診断。リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。投与を開始した翌日の昼に痙攣、意識障害が発現。同日、入院し、本剤の投与中止。翌日、軽い眩暈があるが、意識清明。さらに翌日、意識清明、眩暈消失、痙攣回復。	異常以外-372	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回のNo	備考
400	B-02009730	女性	76歳	150mg	プラバスタチンナトリウム クエン酸モサプリド フドスチン セフジニル トラネキサム酸 臭化水素酸デキストロトルファン カルボシステイン オキサトミド ジフェンヒドラミン フルオシノニド ベタメタゾン/α-マレイン酸クロロ フェニラミン 塩酸フェキソフェナジン スクラルファート	反射減弱 末梢性ニュー ロパシー	不明	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを治療目的に投与。本剤服用終了 約1月後に四肢末梢のしびれ(末梢神経障害)発現。その後、全身脱毛、腱反射減弱、神 経因性膀胱、食欲不振等発現。原因精査治療のため入院し、処置を行い末梢神経 障害や食欲も徐々に回復。転帰は不明。	異常以外-373	
401	B-05001017	女性	76歳	150mg	塩酸ドネペジル 塩酸ラニチジン スクラルファート	意識変容状態	回復	老年痴呆の既往あり。インフルエンザA,B治療のためリン酸オセルタミビルの投与を開 始。6日間投与を2クール実施後4日後に意識障害が発現。終日眠っており覚醒しない。 補液のみで翌日から回復に向かい、意識障害発現後5日後に意識障害は回復した。	異常以外-374	
402	B-05026500	男性	76歳	150mg		幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.9℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。 服用開始から3日目に不穏等が発現し、その後幻覚も見られた。服用開始から4日後に 服用を中止し、幻覚は発現から5日目に回復した。	異常以外-375	
403	B-01000663	女性	78歳	150mg	グリベンクラミド ボグリボース アズレンスルホン酸ナトリウム/ L-グルタミン 酒石酸イフェンプロジル 硫酸鉄 アモキシシリン/クラブラン酸カリ ウム	低血糖昏睡	回復	糖尿病の既往有り。発熱・全身倦怠感有り病院受診し、迅速診断にてA型インフルエンザ と診断。 翌日、朝より少し食欲無く昼食の量は少なめ。その日17時頃就寝呼びかけに対する返答 無し、その後見に行ったところ昏睡のため救急搬送となる。病院到着時、血糖値 38mg/dLであり、ブドウ糖静注すると完全に回復となる。担当医によると、低血糖となっ たのは、今回初めて。	異常以外-376	
404	B-03010786	女性	79歳	150mg	アルファカルシドール ニフェジピン	幻覚 妄想	回復	高血圧、骨粗鬆症で投薬中(開始日:2001/10)。インフルエンザA型と診断、リン酸オセ ルタミビル150mg/日5日分を処方。2日間服用後の夜中、起床し、異常な発言を行い、そ わそわして寝ない。翌日朝、服用後、本剤の投与中止。同日午前中に受診し、会話を正 常。翌日午前中まで昼夜の区別がなかったが、午後になり通常の状態に戻る。	異常以外-377	
405	B-07002949	女性	79歳	150mg	セフミノクスナトリウム ニフェジピン マレイン酸エナラプリル トリクロルメチアジド スピロノラクトン アスピリン・ダイアルミネート シンバスタチン ジクロフェナクナトリウム	幻覚 譫妄	回復 回復	高熱、咽頭痛、歩行困難あり、入院。インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル 投与開始。 翌日、朝より解熱。 投与開始5日目、深夜幻覚、譫妄発現。私服に着替え、夫の病室を訪問。「退院しよう」と 誘うも、説得され帰室。本剤投与終了。 翌日深夜も独りで夫の部屋を訪れ、「退院しよう」といい、説得されて、他の病室へ入室。 その後、病室を出て、約1km離れた自宅に帰り、娘宅に電話する。夫がいないことを不審 に思った由。 その3日後、幻覚、譫妄回復。	異常以外-378	
406	B-05000870	女性	80歳	150mg		味覚異常(味 覚障害)	回復	インフルエンザB発症しリン酸オセルタミビル5日間投与。投与終了2日後インフルエンザ 軽快したが、味覚障害・嗅覚障害発現。味覚障害等発現6日後回復。	異常以外-379	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

症例番号	性別	年齢	日用	薬剤	作用	経過	説明	経過	備考
407	B-05003030	男性	80歳	150mg	アスピリン・ダイアルミネート メシル酸ベタヒスチン 酸化マグネシウム	嘔吐(嘔吐)	回復	インフルエンザと診断され、治療目的にリン酸オセルタミビル投与。翌に本剤服用後、まだらボケがあったが、夜も服用すると妄想、せん妄が発現(軽微)。翌朝も症状続いたため自己中止。その後症状緩和。その日夕方本剤再度服用するも、再び記憶があいまいとなる。翌日、本剤中止。その後、症状なくなる。妄想、せん妄回復。	異常以外-380
408	B-07001906	不明	80歳代	150mg		認知症	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。うなったり暴れたりということが見られ、その後、訳のわからないことをいうなど痴呆症のような状態となる。精神神経異常発現。本剤投与中止。インフルエンザ発症前(本剤服用前)は、痴呆症なし。投与中止翌日、精神神経異常回復。	異常以外-381
409	B-01012004	男性	81歳	150mg	塩酸ミノサイクリン シメトリド・無水カフェイン フロベナムナトリウム ロキソプロフェンナトリウム	幻覚	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル他処方され、経口投与開始。5日後とも、熱がおさまってから幻覚(天井に赤い花が見えるなど)、幻視発現。本剤他投与中止。幻覚発現3日後、幻覚、幻視回復。	異常以外-382
410	B-07003242	男性	81歳	75 mg	アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン 塩酸イブプロフェン	発疹 頭痛 嘔吐	回復 回復 回復	服用1日目、インフルエンザ抗原迅速検査陰性であったが、症状よりインフルエンザ疑いにて、リン酸オセルタミビル処方。午後、本剤服用。夜、嘔吐2回あり。38.4℃、頭痛も持続。服用2日目、服用中止日。午前、38.7℃の発熱、前胸部に発疹散在、頭痛、悪心・嘔吐続く。血液検査で肝障害、腎障害、白血球増加あり。髄膜炎疑い、入院。服用中止1日後、40℃を超える発熱、皮膚悪化あり。	異常以外-383
411	B-07000126	女性	82歳	75 mg	ピコスルファートナトリウム 塩酸マニジピン	幻覚	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。体温37.1℃。本剤服用し、就寝するも眠れず、近所の人の話では訳の分からないこと(入院中でないはずの息子が手足がとれて家にいるので医師のところに連れて行かなければ、娘がバラバラになって、雪にうもれているので助けなければならない等)とを話していたとのこと。服用から2日目、受診。意味不明な事(孫が体中切れていてこわかった等)を話す。インフルエンザ脳症を疑い入院。入院後も、「私のまわりに虫がいっぱいいる。窓から外を見て実際は見えないのだが電車の人が手を振っている。自分の足元に川が流れている」などと話す。服用から3日目、朝、大分落ち着き普通に眠った。服用から4日目、インフルエンザ軽快	異常以外-384
412	B-07003017	女性	82歳	150 mg	アゾセミド イブジラスト クエン酸タンドスピロン ファモチジン 非ピリン系感冒剤(4) 葛根湯 アセトアミノフェン	妄想 幻聴	回復 回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。投与開始2日目、妄想、幻聴発現。本剤投与中止。投与中止2日後、妄想、幻聴回復。	異常以外-385
413	B-04027318	女性	84歳	150mg	バルプロ酸ナトリウム	うつ病	回復	てんかんの既往あり、バルプロ酸ナトリウム長期投与中。B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始後7日目、異常な発言と共に意欲の低下著明、うつ症状発現。有害事象発現後7日目、回復。	異常以外-386

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過	経過	経過
414	B-06017777	女性	84歳	150mg	ゾピクロン アセトアミノフェン 塩酸アンブロキソール キョウニン水 ベシル酸アムロジピン テルミサルタン 塩酸ジフェニドール スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	譫妄	回復	脳梗塞、脳腫瘍手術、不眠症の既往歴あり。インフルエンザ確定診断後、肺炎疑いで入院。翌日よりリン酸オセルタミビル投与開始。2日後夜間、つじつまの合わない会話あり、せん妄発現。4日後以降症状なし、4日後投与終了。	異常以外-387	
415	B-02002182	女性	87歳	150mg	酸化マグネシウム マレイン酸フルボキサミン クエン酸モサプリド プラバスタチンナトリウム ファモチジン ボラボレジンク アセトアミノフェン	幻覚	軽快	幻覚の発現状況は不明。原疾患:痴呆(高脂血症、胃潰瘍を合併)で、約3年前(1999年6月)よりアセトアミノフェン以外の併用薬剤を継続使用。	異常以外-388	
416	B-03013201	女性	87歳	150mg	塩酸プロプラノロール ジアセバム ベンフォチアミン・B6・B12配合剤 リシノプリル プラバスタチンナトリウム	譫妄	回復	30歳台から年1回程度心身症のため受診していたほか、高血圧、高脂血症のため治療中(開始日:不明)。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。投与開始3日後に、幻視を訴えたほか、洋服を何枚もむやみに重ねて着るなどの異常行動があった。翌日、受診時には落ち着いていた。1週間後、再診時には幻覚などの症状はなくなり、再燃はなかった。	異常以外-389	
417	B-05026235	男性	88歳	75mg	グリクラジド アスピリン・ダイアルミネート メコパラミン 非ピリジン系感冒剤(4) ゲファルナート ジクロフェナクナトリウム	失神	回復	インフルエンザ発症で入院し、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目の朝に失神が発現し、約2〜3分で意識が回復した。同日の夜にはインフルエンザも軽快した。	異常以外-390	
418	B-07019990	女性	88歳	75 mg	ニフェジピン 酒石酸メプロロール アルファカルシドール マレイン酸トリメブテン ゲファルナート ファモチジン クラリスロマイシン アセトアミノフェン フェンジソ酸クロベラスチン	肺障害 ラクナ梗塞	未回復 未回復	老人性痴呆あり。意識レベルは清明。意思疎通が可能な程度の難聴あり。インフルエンザ迅速診断キットにて、インフルエンザウイルス陰性。リン酸オセルタミビル等を処方。服用2日目、本日分の本剤を服用しておらず、1回分を服用させて介護スタッフが帰る。服用3日目、家人より5日分の薬が1回分しか残っていないとの連絡。本剤600mgを大量服用した疑いあり。食事は少し食べるが、トイレにも歩行できなくなり、意識障害もあり。夜、救急車にて搬送。脱水、インフルエンザA型陽性、肺炎にて入院。意識レベル不明瞭。入院後、前医で処方された薬剤は投与中止。	異常以外-391	
419	B-04006355	女性	89歳	150mg	塩酸ドネペジル	落ち着きのなさ	回復	老年痴呆、骨粗鬆症、背部痛、骨関節炎で塩酸ドネペジルを投与されていた。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日が投与され、翌日にはほぼ解熱。投与3日目の夜、家が火事になった等の幻覚が発現。不穏状態が発現し持続するため、本剤の投与を中止。翌日には次第に不穏状態が軽快し、投与中止5日後には全く以前のとおりの状態となった。	異常以外-392	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	投与量	投与薬	副作用	経過	説明	副作用No.	備考
420	B-04026971	男性	92歳	150→ 225mg	塩酸チアラミド トロキシド ニフェジピン アロプリノール アスピリン プロセミド ニコランジル 一硝酸イソソルビド 酒石酸メトプロロール ファモチジン レバミピド ニトログリセリン 耐性乳酸菌配合剤(1)	ミオクローヌス	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与2日目 夕刻、コンプライアンス上の問題あり(2〜3カプセルを服用と推測)。同日深夜、不規則な 振戦様の不随意運動出現。翌日も脱水著明、顔・体幹・四肢の不随意運動改善せず。リン 酸オセルタミビルの服用中止。更にその翌日も、不随意運動改善せず、全身のミオク ローヌ様不随意運動と診断、入院。有害事象発現後6日目回復、退院。	異常以外-393	
421	B-01012005	女性	95歳	150mg	テオフィリン ランソプラゾール メクロプラミド ゾピクロン カルボシステイン センノシド セラベプターゼ レボフロキサシン	幻覚	回復	発熱(39℃)、腰痛発現。(CRP4+)のため、クラビット処方。 翌日、インフルエンザ疑いあり、リン酸オセルタミビル処方。 処方5日後、幻覚(幻視:木が倒れてくる。幻聴:ハチの発音)発現。本剤投与中止。 翌日、幻覚軽快。 投与中止3日後、幻覚完全回復	異常以外-394	
422	B-06000632	女性	成人	不明		痙攣	不明	詳細不明	異常以外-395	
423	B-07006907	不明	成人	不明		嗅覚錯誤	未回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用後、嗅覚障害発現。	異常以外-396	
424	B-08001238	女性	8月	30 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸アンブロキシオール 接皮エキス ツロブテロール テオフィリン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用。 体温37.0℃。顔を母親の胸に打ちつける。無意味な動き発現。約5分後、症状治まる。無 意味な動き回復。 テオフィリン服用。当院にて、診療するも神経学的に異常なし。		2008/4/1以降 新規報告
425	B-07001708	男性	不明	不明		パーキンソン 病	未回復	大腸ポリープの手術を行った後、インフルエンザに罹り、リン酸オセルタミビル処方。服 用翌日、パーキンソン病発現。現在も治療中。	異常以外-397	
426	B-07003019	女性	不明	36 mg	ヒベンズ酸チベジジン フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣	回復	インフルエンザにて、リン酸オセルタミビル服用開始。朝、夜本剤服用。体温:39℃。 投与開始2日目、朝、夜、本剤服用。寝ている時、痙攣の様にビクビクする。 投与開始3日目、熱が下がったので本剤を自己中止する。その後、痙攣は出ていない。	異常以外-398	
427	B-01002841	男性	不明	不明	ジクロフェナクナトリウム 塩酸ホミノベン	振戦	不明	インフルエンザに対してリン酸オセルタミビル投与を開始。投与後1〜2日後、冷感、ふる え、高熱のため他院に移送。転帰不明	異常以外-399	
428	B-07002665	男性	不明	78 mg	ヒベンズ酸チベジジン フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夜半、意識が朦朧となる。 呼びかけてもはっきりせず家族が「異常行動か?」と考え、本剤服薬中止させたところ、 意識回復。	異常以外-400	